

第7次別海町総合計画（基本構想・基本計画）（原案）に寄せられた意見に対する別海町の考え方について

平成30年11月9日から12月10日まで、第7次別海町総合計画（基本構想・基本計画）（原案）に係るパブリックコメントを実施したところ、5個人18件のご意見・ご提案をいただきました。

寄せられたご意見等を公表するとともに町の考え方を示します。

なお、提出されましたご意見等については、原文を尊重し掲載しておりますことを申し添えます。

No.	提出された意見	町の考え方	所管課
1	総合計画について 資料が一杯で分かりづらいです。	第7次別海町総合計画については、本町が目指す今後10年間（2019～2028年度）のまちづくりの将来像を掲げたものとなっています。そのため内容は、多岐にわたっていますが、必要最小限の記載としていますのでご理解ください。 なお、内容の確認につきましては、役場総合政策課までお問い合わせください。	総合政策課
2	（要望） ローソンを作って欲しいです。 札幌にある「みよしの餃子」の別海店オープン	大手チェーン店やコンビニの地域への出店については、各企業の出店戦略によるため、町では出店の可否を決めることが難しいことをご理解ください。	商工観光課
3	（要望） 札幌、自衛隊音楽隊、歌手、solist、ジャズバンドなど呼んでコンサートが多めにしてください。	現在も公民館事業の中で町民対象のコンサート等を開催し、特に中央公民館では町民による実行委員会を組織して幅広いジャンルのコンサートを年2回実施しています。 今後も異世代異業種問わず芸術・文化に触れる機会の拡充とふるさとの芸術・文化の活性化を図っていきますが、2021年に生涯学習センターが供用開始になると、施設も使い易く、集客数も増すことから、音楽に限らず多種多様な発表会を今以上に実施可能であると考えます。	公民館
4	（要望） 自家発電も考え、牛乳廃棄しない農家作り、作物も一杯作らせて、消費者に安く売って欲しいです。	酪農家においては、停電時にも搾乳、保管、出荷が出来るよう発電機導入、配電盤の整備を行う予定であり、国や乳業メーカーにおいても非常用電源や広域的な配送網について検討をしており生乳が廃棄とならないよう対策が打ち出されているところです。 作物の栽培及び消費者への販売は生産者の取組によるものとなりますので、町で関与することは難しいことをご理解願います。	農政課
5	（要望） バスも一時間おきに走らせないと大変不便です。（東武前発 12：00～ 4：55～）	中標津線の運行時刻や便数等については、事業者が利用実態等に合わせ適宜設定をしていますので、御理解願います。	防災交通課

6	(要望) ブルトーザもよく空で走ってるのみかける。雪降ったら夜中にやって欲しい。 道路パトロールも走っているだけで穴ぼこ、草刈りも何もやっていない。	除雪については、積雪 10cm を目安に、午前 5 時からの出動を基本としています。また、町有の除雪車については、晴天時も路面整正や拡幅除雪のため作業を行っています。 道路パトロールについては、3 日に 1 度の頻度で行い、路面の穴等の損傷は順次補修しています。 草刈については、市街地は町が、郊外地は別海町資源保全広域指定運営委員会等の団体が、年 2 回行っています。	管理課
7	【p 64】障がい者（児）支援施策の充実 ・専門職巡回利用者数が少ない。 ・放課後等児童デイサービスの利用料補助や利用日数の上限撤廃についての記述があれば、尚よかった。	子ども発達支援専門職巡回事業は、専門機関から派遣された専門職により実施し、派遣日数に限りがあります。このため、一回の派遣において、対象児童の状況把握や保護者等との相談に対応する十分な時間を確保する人数設定としていますのでご理解願います。 放課後等児童デイサービス等の障害児通所支援給付費の利用者負担額は、国が定める基準の 1 割となり、世帯の所得に応じた軽減が設定されています。 さらに、町独自の軽減事業として、未就学児童が利用する児童発達支援について、早期療育支援の促進を図ることを目的とし、利用者負担額の助成を行っています。なお、放課後等デイサービスへの対象拡大につきましては、今後の国の動向を踏まえて検討することとしています。 また、利用日数の上限につきましては、国の通知等に準拠し、障害児通所支援事業の利用を希望する障がい児等の状況に応じた障害児支援利用計画に基づき、当該児童の最善の利益と判断される日数で決定していますのでご理解願います。	福祉課
8	【p 73】学校教育の充実 各学校の教育コーディネーターの取組についての記述があると良かった。 三笠高校の様な特色を別海高校にも。	本町における教育コーディネーターは、特別支援を行うために教育機関や医療機関との連携及び相談窓口としての専門業務を担う、教員による特別支援教育コーディネーターや、本町の各学校区で取組みを進めているコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）において、学校と地域の連携に関わる様々なコーディネート活動を行う地域コーディネーターがあります。 今後もそれぞれの施策の中で必要とされる教育コーディネーターの配置等について検討を進めていきます。 なお、三笠高校については、公立（市立）の高校として調理師などの育成に特化したカリキュラムとなっています。 本町では、地域活性化や本町の経済振興を支	学務課

		える人材の育成を進めるため、地元別海高等学校への支援として各種支援事業を推進し、関係機関との連携を図りながら、今後も魅力ある高校として選択できる環境を整えていきます。	
9	【p 74】学校教育の充実 ⑤心の問題への対応 いじめや不登校について、本人を支えるのは言うまでもない事ですが、保護者を支える（集まって話をする場）ことも大事と思います。	いじめや不登校への対応については、スクールソーシャルワーカー、臨床心理士、ふれあいルームの指導員等の連携により教育相談を行っています。 この中では、児童生徒への対応だけではなく、個別の状況に応じて、保護者への対応も行っています。 今後も学校と連携を図りながら、いじめや不登校等の未然防止、早期発見、早期対応に努めていきます。	学務課
10	【p 74】学校教育の充実 ⑩高等教育支援等の充実 高校での特別支援が始まったと聞いていますが、どのような支援が受けられるのか、小中学校の特別支援との違いや連携について知りたいです。	別海高等学校については、道立の学校であることから、別海高等学校へ聞き取りを行った内容について、次のとおりお答えします。 1 特別な支援又は配慮を要する場合 ・出願前に中学校からの相談・要望をもとに根室教育局の指導を受けながら北海道教育委員会と協議し、対応を行っています。 ・入学者選抜、入学後のそれぞれについて要望に対する対応の可否を検証し、実施に当たっています。 2 通級による指導が必要な場合 ・通級による指導が必要な場合も上記と同様の流れとなりますが、卒業に必要な習得単位数は他の生徒と同様です。 3 様々な支援や配慮を要する場合 ・様々な支援や配慮を要する場合も、他の生徒と同様の条件で進級、卒業の認定を行っています。 ・通級による指導を必要とする生徒が受検する場合には、必要とされる支援の内容を根室教育局の指導を受けながら十分に北海道教育委員会と協議し、校内体制や保護者、関係機関との連携を図っていくことになります。 小中学校の特別支援との違いとしては、小中学校では、別海町特別支援教育支援員配置要綱に基づき、学校生活上の介助及び学習指導上の支援等を行うために特別支援教育支援員を配置していますが、別海高等学校での配置はありません。	学務課
11	【p 100】防災対策の推進 1 現状 ・下段、避難施設に走古丹が入っていませんが？	「走古丹」を追記し、文章を修正します。	防災交通課

12	【p 6】安全安心への意識高揚 身近な「平成 5.6 年発生の釧路沖及び東方沖大地震」地元の大地震災害の文言引用で、より災害に関して身近に感じると思います。	過去の災害を風化させないことは重要ですが、これからの 10 年に向けた、理解、共感しやすい計画とするため、広い世代の記憶に新しい最近発生した災害名を記載しています。	防災交通課
13	【p 7】2 別海町の概要 1 別海町の位置と地勢 (1) 町面積 1,319.63 m² ⇒ HP では 1320.23 m² となっていますが……？ (2) 年間降水量 800 mm から 1,600 mm としてますが、昔から概ね 1,500 mm と理解してましたが……？	(1) 町面積については、国土地理院で公表している面積 1,319.63 m² を記載しています。 なお、ご指摘のありました、ホームページの面積を 1,319.63 m² に修正しました。 (2) 年間降水量については、気象庁で公表している平成 20～29 年の気象データを記載しています。	総合政策課
14	【p 19】1 別海町の将来像 1 目指すべき将来像 いつも心に広がるふるさと べつかい ・例えば、道内外で活躍されている方々を「頑張る別海魂」としてお知らせしたりするコーナーを設置したり、広報でシリーズ紹介するなど応援するシステムづくりを是非実現して欲しいと思います。	総合計画書には記述していませんが、全国に「別海町」の名を広め、道内外で活躍されている方々を広く周知をしていきたいと考えています。 周知の方法については、庁舎ロビーにコーナーを設置、ホームページでの記事掲載や SNS への投稿、町広報誌での記事掲載など、さまざまな手法が考えられます。 今後、しっかりと情報収集した中で、どのような方を紹介していくかなど、その基準や具体的な周知方法について、検討していきたいと思っています。	総合政策課
15	【p 20】1 別海町の将来像 2 将来像を実現するための基本目標 ・「あたたかさ実感のまち」イメージの文言が見える形でどこかに入れてみるなど	将来像を実現するための基本目標は、6 つの施策の柱について設定しているものとなっており、実現するための手段として 37 の施策の大綱を定めています。 「あたたかさ実感のまち」の文言は記述していませんが、イメージできる文言としては、「基本構想 第 1 章 別海町の将来像 いつも心に広がるふるさと べつかい」に記載のとおり「人と人との温かな結び付きを大事にする」ことで、「あたたかさ実感のまち」が実感できるような施策に取り組んでいきたいと考えています。	総合政策課
16	【p 22、28、70】3 施策の体系 基本目標 4 ・「社会教育」⇒「生涯学習」or「社会学習」としてはどうなんだろうか？（各所に言葉） （理由）「学校教育」は良いですが、「社会」は教育するイメージではなく、共に学ぶイメージを感じるが……？（社会教育中期 4 期計画とも関連）	社会教育は、学校での教育課程を除く、全ての組織的な教育活動を示す言葉です。 公民館や体育館での教室、会社の研修会、文化団体等のサークル活動など様々な活動が社会教育にあたります。 一方で、生涯学習は、組織的に行われる「学校教育」や「社会教育」だけでなく、一人でも行うことが可能な趣味活動なども含めた幅広い教育・学習の活動を示す言葉となりますので、本計画の P 22・28・70 の表記については、	生涯学習課

		いずれも「社会教育」が適当と考えます。	
17	【p 40】観光の振興 ・別海町は、野付半島が俗にいう観光地で、ハード・ソフト両面で取組みを更に推進して欲しいと思います。 地理的、産業的条件等を考慮すると、第一次産業を活用した体験型観光に力を注いで欲しいと思います。(第一次産業と観光との融合)	「4 主要な施策」や「6 主要な事業」に記載しているように、野付半島等の観光施設整備を進め、ガイド事業や SNS を活用した PR に取り組みます。 また、第一次産業を活用した体験型観光は農泊や打瀬網漁・氷下待網漁の見学など、体験型観光メニューの確立を推進します。	商工観光課
18	【p 46】環境に配慮した自治体の形成 5 重要業績評価指標 (K P I) ・公共施設の CO2 削減目標及び電力削減 5 年 15%減 10 年 28%減。かなりハードルは高いと思われますが？ 可能な目標値と解していいんでしょうか？	地球温暖化対策推進法により、地方公共団体が属する部門では、2030年度に2013年度比で40%削減することが目標となっています。 総合計画の基準年度は2017年度、目標年度は2028年度となりますので、推進法に定める削減率に合わせて、10年後の目標値を28%減で決めました。 この目標値については、町としても厳しい数値であると認識していますが、環境省の補助事業を活用した照明及び暖房設備等の更新を進め、目標達成に向けて取り組んでいきたいと考えています。	総務課